

東教育財団だより

発行所
 公益財団法人
 東教育財団
 大阪市中央区南本町
 2-2-11 堀筋本町
 西尾ビル6階
 電話 06 (6262) 7363
 FAX 06 (6227) 8058
 発行責任者 沼田 宏

平成三十一年度事業計画及び収支予算の概要

東教育財団の平成三十一年度事業計画及び収支予算は、三月五日開催の理事会の決議を経て、同日引き続き開催された評議員会において承認されたが、その概要は次のとおりである。

平成三十一年度事業計画

一 助成事業

助成対象事業

① 学校教育事業助成

中央区内の学校教育の充実・発展に寄与し、且つ、当該校の独自性や特色を持つ事業

② 社会教育・生涯学習事業助成

中央区内の社会教育や生涯学習の充実・発展に寄与する事業

③ 地域文化・まちづくり事業助成
 中央区内の地域文化や東地区五地域のまちづくりの振興に寄与する事業



(理事会会議風景)

助成対象団体

① 学校教育事業助成
 中央区内に所在する公立の幼稚園、小学校及び中学校

② 社会教育・生涯学習事業助成

社会教育や生涯学習の活動を行う社会教育団体及び生涯学習団体

③ 地域文化・まちづくり事業助成

地域文化・まちづくり活動を行う団体

助成限度額

平成二十九年六月二十三日満期償還となった第五十一回共同発行地方債(額面五億円 利率一・九%)の償還後の運用を新発債の国債・地方債の金利状況を勘案して、当面、銀行に定期預金し、債券市場を見守ることとしたため、平成二十九年年度の運用収益は前年度比で約六百四十万円の減となった。そこで、平成二十九年年度の助成事業は、対象事業と対象団体は前年と同様としたが、助成額については、前年度助成額から概ね三割を減じた額とした。

平成三十一年度中に満期償還とな

る国債・地方債は保有していなかったが、前年六月満期償還となった地方債の償還後の運用を引き続き銀行に定期預金し、債券市場を見守るとしたため、平成三十年年度の運用収益は平成二十九年年度の収入となった同地方債の利息(九百五十万円―六百四十万円)三百十万円が前年度比で減となった。そこで、平成三十年年度の助成事業は、平成二十九年年度助成額から、学校教育で約三割、社会教育で約二・五割、計三百十万円を減額した基準で助成した。

本年十一月二十七日には、第三三回府公募公債(額面二億円利率一・五八%)が満期償還となるが、当該債券の収益金は償還日までに年間収益額を確保でき、平成三十一年度運用収益は全体で前年度収益額を下回ることはないので、平成三十一年度の助成基準は平成三十年度と同様とした。但し、本年度から加算する校周年記念特別助成は、この限りではない。

二 特定費用準備資金積立事業

日本近代教育制度の創始とされ

る学制は明治五（一八七二）年に
 發布されたので、平成三十四（二
 〇二二）年に百五十周年を迎える。
 そこで、その前後の期間（平成三
 一〜三五年度）に周年記念特別事
 業を行う中央区所在の公立の幼稚
 園、小学校及び中学校に助成する
 資金を積立てる。



（評議員会会議風景）

三 広報啓発事業

『東教育財団だより』発行事業

財団の事業と大阪の文化・歴史
 を紹介する季刊誌を発行（年四
 回）する。

平成三十一年度収支予算

❖ 収入（経常収益計）

三三、一一八、〇〇〇円

（前年度比 四、一五七、〇〇〇円）

❖ 支出（経常費用計）

三三、二四三、〇〇〇円

（前年度比 二、七五五、〇〇〇円）

（内 訳）

【事業費計】

一一、〇二三、〇〇〇円

（前年度比 一、三七二、〇〇〇円）

【管理費計】

一一、一三〇、〇〇〇円

（前年度比 一、三八三、〇〇〇円）

❖ 差引（当期経常増減）

八七五、〇〇〇円（※）

※ 前年度末から保有する特定
 費用準備資金から四十五万円
 を取崩し、新たに百六十万円
 を積立てるため、収支相償は
 ▲二十七万五千円となり適合
 する。

財団職員の雇用形態の変更

平成二十五年四月一日に改正
 労働契約法が施行され、有期労働
 契約が五年を超えて更新された
 場合、有期労働契約者の申込みに
 より、期間の定めのない労働契約
 （無期労働契約）に転換されるこ
 ととなった（労働契約法第十八
 条）。

このことにより、これまで一年
 毎の有期雇用であった当財団職
 員も平成二十五年四月一日以降
 五年を超えて更新する場合には、
 無期雇用職員となり、また、その
 ことにより定年制導入等も必要
 となるので、「職員勤務要綱」の
 一部を改正して、所要の規定整備
 を行った。

併せて、財団職員の処遇につい
 ても一定の改善を行った。

助成事業の紹介

平成三十年度に助成した事業の
 具体例を紹介します。

○ 学校教育事業助成

「言語活動の充実を図る

図書館開放事業」





○ 地域文化事業助成
「第三十回中央区民まつり」

中大江小学校では、図書館の蔵書をバーコードで管理することをすすめ、図書館の開館時間を延長した。
このことにより、児童が本と出会う機会が増え、言語活動の充実が図られ、豊かな心情が育まれた。
(助成額二十万円)

毎年十月の第三日曜日に、子どもから大人まで誰もが参加して楽しめる、区民の創意・工夫を凝らした手づくりの区民まつりを開催し、温かい心と心のふれあう連帯感とわがまち意識を高めるとともに、失われがちな伝統行事や催しを掘り起こし、地域文化の振興を図っている。

特に、本年は区制三十周年を記念して、「にぎわいとふれあい」あふれる中央区の良さ・魅力を積極的に発信し、未来につなげていくため、中央区の「いいところ」「好きなところ」について、区民まつりの会場でも募集した。
(助成額一五万円)

「北大江たそがれコンサート」

十月十四日(日)からの一週間を「コンサートWeek」とし、地域周辺の事業所の自主開催によるライブコンサートをリレー開催するとともに、最終日の二十日(土)には、北大江公園で地域に集まる楽器工房等の協力・協賛により野外コンサートを開催し、地域

一帯の文化交流の輪を広げ、都心のコミュニティづくりに寄与した。
(助成額十二万円)



「船場ガイドブック二〇一八」



船場地域の歴史・文化や暮らしに関する情報と街歩きに活用できる地図を内容とする小冊子を二万部発行し、船場まつりや船場博覧会等、秋のイベント月間を中心に、イベント会場で配布し、イベントとともにまちの魅力を伝えた。
(助成額十五万円)

大阪の町人魂 — 町人自治 —

元和五（一六一九）年、徳川幕府は大坂を直轄地とし、大坂城代を置いたが、その職務は大坂城の警護と西国大名の監視とされ、大坂の市政にはほとんど関わりを持っていなかった。市政は、東と西に置かれた大坂町奉行が月番交代でみることにされ、月に八日奉行所が開かれた。

そもそも、幕府が大坂を直轄地としたのは、軍事力を持たせないためであつて、大坂の武士の数は、幕府派遣の役人（武士）である大坂城代や町奉行、町奉行配下で現地採用の与力や同心など合わせてもせいぜい二千人程度であり、当時の大坂の人口のうちの五%余りに過ぎなかった（但し、関西大学文学部教授数田貴氏は概ね八千人と試算『武士の町 大坂』中公新書・平成二十二年）。

大坂の町は大坂三郷（北組・南組・天満組）といわれ、惣年寄が

市政の実務を担当し、各町の町政は町年寄が担当していた。城代や大坂町奉行所からの触（ふれ）は惣年寄たちに伝えられ、惣年寄はそれぞれの惣会所や町年寄に伝達することになっていた。



— 北組惣会所跡 —
所在：中央区平野町三丁目「東横イン」

惣年寄は名誉職で、資産があつて町人の間に人望のある者が選ばれ、惣代は惣年寄を助けて組の事務に専従する者で、惣年寄に任命され、惣会所に住んでいた。

各町には町年寄と町代がいる。町年寄は名誉職で、惣年寄が任命したが、後には町人による選挙で選ばれた。この町年寄を助けて町政事務を執つたのが町代で、各町が雇入れたが、規模の小さい町などは一人の町代が兼務することもあった。

このように、町人で構成する行政組織が整い、町人による自治（

民政）が行き届き、町人天国が謳歌されていた。「お奉行の 名さえ覚えぬ」とし暮れぬ」（江戸時代の大阪町人出身の俳人・小西來山作）と謳われたように、江戸と違つてお上（幕府）の統制がなくても治安が保たれた町であつたのである。

このことを三浦周行氏は『大阪と堺』という著作の中で「大坂は江戸と同様、幕府の直轄地であつたが、將軍のお膝下でなかつただけ、従属関係はやや希薄であつた代わりに、市民の自治の観念が盛んであつて、幕府もこれに対して種々の特殊な制度を布いて居つた。それで自治体の首脳たる大坂三郷の惣年寄は江戸へ参勤もすれば、大坂の町奉行等とも対談ができたのは、一般に町人を貶めた社会制度からいうと、確かに注意すべき



— 南組惣会所跡 —
所在：中央区農人橋一丁目「南大工保育所」

現象であつて、封建制度としては、当時の大坂は町人の楽天地・理想郷であつた（三浦氏は『大阪』と表記するが、敢えて『大坂』に改めた）と書く。

また、火災の火消しも、大坂では三郷ごとに「町火消し」があり、町人や侠客が活躍した。北の大坂で天満の天神さんが焼けずにすんだのは、侠客・明石家万吉（小林佐兵衛）が死守したからだといふ。これに対し、江戸は「大名火消し」が主であつた。



— 天満組惣会所跡 —
所在：北区「滝川公園」内

このように見てくると、大坂町人の意識の高さが故に「大坂という都市は封建時代を経験しなかつた」と言えると思ふ。

（榎野 勝・記）

※このコラム欄への投稿を募ります。テーマは「おおさか」です。一五〇〇字程度でお願いいたします。